

2015年 3月 14日

公益財団法人 笹川記念保健協力財団
理事長 喜多悦子 殿

2014年度奨学金支援

完了報告書

| | |
|--------|---|
| 所属機関・職 | 東京大学大学院医学研究科健康科学・看護学専攻 成人看護学分野看護師コース修士課程1年 |
| 氏名 | 平尾 千恵子 |

- ・平成26年4月1日より大学院に所属し、講義・研究計画・実習などに取り組んでいる。
- ・講義は、がん看護専門看護師育成コースの必修科目として、看護理論特論、がん看護特論Ⅰ 緩和ケア特論Ⅰ、看護管理学、看護機能・体系学、腫瘍学の前期の科目に加え、医学統計学入門、病態・治療学概論A、病態・治療学概論B、緩和ケア看護学Ⅱ、がん看護特論Ⅱ、成人看護学特論ⅠA、成人看護学特論ⅠBを後期として出席した。
- ・看護理論特論では、理論に関する英語の書物を要約し発表後課題に対してディスカッションを行うことで看護理論について幅広く学ぶことができた。がん看護特論Ⅰでは、海外と日本の医療の違いや医療倫理、フィジカルアセスメントについて学んだ。緩和ケア特論Ⅰでは、緩和ケア病棟に見学に行ったり事例検討をしたりして近年の緩和ケアについて学ぶことができた。看護管理学と看護機能・体系学では、組織分析やリーダーシップなど管理に関することを学ぶことができた。腫瘍学では、各科の医師より講義をしていただき疾患や治療について学ぶことができた。医学統計学入門では、統計の基本や論文の書き方を学ぶことができた。病態・治療学概論Aと病態・治療学概論Bでは病理学の視点から疾患や治療を学ぶことができた。緩和ケア看護学Ⅱでは、社会医療制度や地域の医療について学ぶことができた。がん看護特論Ⅱは、造血幹細胞移植患者に対する看護を学ぶことができた。成人看護学特論ⅠAと成人看護学特論ⅠBでは、グラウンデッドセオリーに関する英語の書物を要約し発表後実際のデータをもとにコーディングを体験することができた。
- ・がんプロ講座は引き続き毎回参加した。
- ・授業の合間に施設見学にも参加した。「7つのゼロへの挑戦」を実践している特別養護老人ホームを見学に行き、取り組みや経営などの現場の声を聞くことができた。
- ・研究計画に関しては、先生方との面談を繰り返し行い研究計画書を作成中である。
- ・実習は、役割実習を1月に実施、実践実習Ⅰを2月に実施、実践実習Ⅱを6月から実施予定である。現在役割実習を修了し、実践実習Ⅰの最中である。
- ・4月に出産後、8月に里帰りを終えて育児と学業を両立できるよう努力している。夫が育児や家事など全面的に協力してくれており、実習に取り組んでいる。